

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		手代森汚水処理施設維持管理事業			事業コード	0837
担当課等	所属名	上下水道局 下水道施設管理課		担当係名		
	課長名	上下水道局 下水道施設管理課	担当者名	武蔵 博行	電話番号	6508

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	健全な水環境・良好な水循環の創出	コード 6
	基本事業	汚水処理の充実	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 2項 1目 手代森ニュータウン汚水処理 事業(008-02)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 57年度～)		
事務事業の概要	手代森ニュータウン汚水処理施設の機能を適正に保持して放流水質を確保し、生活環境及び公共水域の保全の向上を図るものである。					
根拠法令等	盛岡市汚水処理施設条例					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和57年に開発行為が完了したことに伴い、処理施設を旧都南村へ帰属した。施設管理の帰属については、区域内入居率が70%に達した時点とし、平成2年に施設管理も旧都南村へ帰属したことによる。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
経過年数が27年となり処理施設及び設備の老朽化が進み多額の維持管理費を要することが懸念される。平成23年6月より流域関連公共下水道へ接続し、処理施設を廃止する。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	<input type="radio"/> 手代森汚水処理施設(通常業務・水質分析は委託) ・汚水処理施設の設備数 ・流入汚水量 ・利用人口	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 設備数(汚水処理、汚泥処理、脱臭、消毒、換気、放流及び非常用発電設備) B. 流入汚水量 C. 利用人口	単位 単位 単位	ヶ所 m3 人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) <input type="radio"/> 施設設備維持管理基準に従い、適切な整備を行ない機能の維持に努め、効率的で環境に配慮した施設の維持管理を行った。 ・整備すべき対象設備等の選定 ・修繕計画の資料作成 ・発注 ・施工管理 ・検収 ・日常点検の検収 ・排水の水質検査実施 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 施設維持管理基準に基づき、設備機器を適切に整備し施設機能を安全・安定した維持管理を行なう。 ・維持管理執行計画作成 ・発注 ・施工管理 ・検収 ・日常点検の検収 ・排水の水質検査 ・汚水処理場浚渫業務	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 修理委託及び改修等の実施件数 B. 水質測定回数 C. 施設巡回点検回数	単位 単位 単位	件 回 回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	<input type="radio"/> 処理施設は流入汚水を排出基準に 適合するよう処理し、生活環境及び河川等の公共水域の水質保全の向上に努める。 ・処理施設運転が年間を通して停止させることなく安全・安定した施設管理をする。 ・処理施設からの放流水を「水質汚濁防止法」に規定する排水基準に適合するよう施設管理をする。 ・pH排出基準 5.8以上8.6以下 ・BOD排出基準 160以下 ・SS排出基準 200以下 ・大腸菌排出基準 3,000以下	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 施設稼働達成率(達成日数÷年間日数)×100 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 B. 処理水排水基準達成率(達成回数÷2回(6月に1回検査実施))×100 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 C. 施設点検巡回率(日常・異常対応)=(施設巡回点検回数÷104回(2回異常巡回:仕様書より))×100 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位 単位 単位	% % %
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の)	衛生的な水環境が確保される		⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の)	汚水処理人口普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)(単位:%)	

基本事業(どの
ように貢献する
か)

成果指標)

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	設備数(汚水処理, 汚泥処理, 脱臭, 消毒, 換気, 放流及び非常用発電設備)	ヶ所	7	7	7	7	7	0	23年度 7
対象 指標B	流入汚水量	m ³	228,313	240,807	266,000	259,518	53,300	0	23年度 53,300
対象 指標C	利用人口	人	1,417	1,420	1,420	1,420	1,420	0	23年度 1,420
活動 指標A	修理,委託及び改修等の実施件数	件	1	5	4	4	4	0	23年度 4
活動 指標B	水質測定回数	回	24	24	24	24	4	0	23年度 4
活動 指標C	施設巡回点検回数	回	123	127	104	144	16	0	23年度 16
成果 指標A	施設稼働達成率(達成日数÷年間日数)×100	%	100	100	100	100	100	0	23年度 100
成果 指標B	処理水排水基準達成率(達成回数÷2回(6月に1回検査実施))×100	%	100	100	100	100	100	0	23年度 100
成果 指標C	施設点検巡回率(日常・異常対応)=(施設巡回点検回数÷104回(2回異常巡回:仕様書より))×100	%	100	122	100	100	100	0	23年度 100

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円	9,867	9,457	17,731	8,727	2,443	0	****
財源 内訳	④国	千円							****
	⑤県	千円							****
	⑥地方債	千円							****
	⑦一般財源	千円	9,867	9,457	17,731	8,727	358	0	****
	⑧その他(汚水処理施設使用)	千円					2,085		****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	9,867	9,457	17,731	8,727	2,443	0	****
延べ業務時間数		時間	360	360	360	360	60		****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は,事務費に含む)		千円	1,440	1,440	1,440	1,440	240	0	****
トータルコスト(A)+(B)		千円	11,307	10,897	19,171	10,167	2,683	0	****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 本事業の実施により、汚水処理施設を適正に管理運営することが可能となり、排水基準が守られ、衛生的で安全な生活環境及び公共用水域の水質の保全を確保することができる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 下水道事業の一環であり、地方自治体が関与すべき事業である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 設定対象指数で施設の状況が把握でき、妥当である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 施設の管理運営上の基本的な意図であり、妥当である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 老朽化した設備機器を計画的に改修することにより、施設の安定した管理運営が可能となる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 生活排水や事業所からの排水により、河川等の公共用水域の水質及び衛生的で、安全な生活環境が悪化し公衆衛生の保全が困難となる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ポンプ場維持管理事業、終末処理場施設維持管理事業、農業集落排水施設維持管理事業、下水道管渠施設維持管理事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 各事務事業には、その性質から多くの類似した内容を含んでいるが、それぞれ目的、対象、根拠法令が異なる事業であり、一元化を図ることは困難である。また、管理する施設が市内全域に点在しているため、スケールメリットが生じがたく、むしろ緊急時の対応に遅れを生じさせかねないことから、成果向上が見込めないものと判断される。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 現状では、設備機器の経年劣化による不具合の発生は避けられないことから、事業の性質上経費を削減することは困難であるが、平成23年度に流域関連公共下水道への切替により可能となる。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 現状では、既存施設の老朽化に伴う維持管理事業費の増が確実なことから、削減は困難であるが、平成23年度に流域関連公共下水道へ切り替により可能となる。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 受益機会は、計画に基づき定められた区域内で行なわれていることから適正である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 費用の原資は、条例に定められている使用料である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること ミワ単独施設から、流域関連公共下水道へ接続し施設を廃止する予定である。しかし、廃止までの期間、施設の機能を安定的かつ効率的に維持管理しなければならないため、計画的に設備機器等の修繕を行なう。流域関連公共下水道への切替後も、引き続き供用する管渠施設については、不明水及び浸入水対策を行う。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <p>1 流域下水道、県下水環境課等との協議、連絡調整 連絡協議を行い施工に係る工程を明確にする。部内関係課との連絡調整。</p> <p>2 既存施設の維持管理 流域関連公共下水道への切替後の施設解体撤去に係る調査検討、財源の確保、手法・工程を明確にする。</p> <p>3 不明水、浸入水対策 効果的で効率的な調査手法の検討と実施</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 : ○ 妥当 ● 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	(2)全体総括(振り返り, 反省点)
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ↓ <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </p> <p>時期:平成23年5月31日年度から</p> <p>↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p>	

手代森ニュータウンの下水を適正に処理するために必要不可欠な事業であり、老朽化が著しい施設の適正な維持管理に努め、処理機能の保持に務めた。
なお、平成23年5月31日をもって本事業を終息し流域下水道都南処理区へ編入される。